

実習生としての姿勢・心構え

① 実習生としての立場を理解する

- ・ 実習生は実習事業所の実習指導者（主任介護支援専門員）と、対象となる利用者の方の情報等について相互に共有し見学・観察をすることとなる。知り得た個人情報の保護には万全を期し、行動すること。

② 実習生としての姿勢

- ・ 自己目標を明確にし、実習に真剣に取り組む。
- ・ 実習指導者をはじめ、実習事業所職員の指示に従って行動する。
- ・ 健康には十分留意し、よい体調で臨む。
- ・ 明るくはっきりとした声で対応する。
- ・ 見学の対象となる利用者の個人情報は口外しない。

③ 実習について

- ・ 実習時間を厳守する。
- ・ 余裕を持って実習場所に到着し、身支度を整えて準備する。
- ・ 実習事業所から資料の提供があれば、事前に読み込んでおく。

④ 服装について

- ・ 化粧は最小限で、アクセサリーはつけない。
- ・ 清潔感のある服装に配慮し、所属事業所のユニフォーム着用などは避ける。

⑤ 利用者宅訪問について

- ・ 挨拶はしっかり行い、脱いだ靴は揃えて適切な位置に置く。
- ・ 利用者ご本人・ご家族に自己紹介し、ご本人・ご家族に配慮した行動をとる。
- ・ 訪問内容についてメモを取る承諾を得る。
- ・ 傾聴・受容・共感する姿勢を持ち、利用者主体の支援であることを意識する。

⑥ 実習の記録について

- ・ 記載内容及び書体について、実習指導者が読むことを意識して記入する。
- ・ 実習を工夫、改善する意識をもち、簡潔に記入する。